

私たちの力で、沼津駅の高架化を実現しよう



かけはし

主な記事

- 輝かしい未来に向かって……………(1)
- 主張 市民の理解と協力を……………(1)
- 取材 夢が現実のものに……………(2)
- 報告 市、市議会への信頼を……………(3)
- 会の動き……………(4)

編集・発行／沼津駅の高架化を実現する市民の会 〒410沼津市御幸町14-5(沼津商工会議所内) TEL<0559>31-1111代・FAX<0559>31-1115

輝かしい未来に向かって



沼津市長 桜田光雄

一つの事業を進めようとするれば、きつと有ると思うのです。

「そうだ。あの時だ。あの時、この事業は、成功に向かって大きく一歩前進したんだ。」

事業が成功した時、苦しく、長かった過去を振り返って、そう思う画期の時が二つや三つ、どんな事業にだって必ず有ると思うのです。

私たちが進めている鉄道高架化事業だ。例外的ではないのではなく、こんなに大規模な事業です。他の事業に比べれば、余程そういう瞬間は多いに違いありません。

今までだって、何度もあつたはずです。過去何度か挑戦し、その度ごとに挫折した鉄道高架化事業にあらためて沼津市が取り組むことを決意した後、昭和六十三年三月十一日、沼津市議会に鉄道高架化促進対策特別委員会を設置されたのが第一の画期だったと思うのです。

第二のそれは意外と早く訪れました。五月十四日に「沼津駅の高架化を実現する市民の会」が結成されたのです。これによって、行政、議会そして市民という三者がうって一丸となってこの事業を進めていく態勢が作られました。

平成三年四月からは、静岡県が事業主体となって鉄道高架化事業の調査を行っていただくことになりました。鉄道高架化事業は決して沼津市が行える事業ではありません。どんなに私たちが熱望しても、いくら一所懸命に努力するとしても、結局、県が事業に乗り出してくれないければ、

一センチメートルの鉄道高架だつて実現できないのです。その難関が突破されました。静岡県が事業主体となつて鉄道高架化事業が実施される。それがこの時、事実上決定したのである。第三の画期は、第一、第二のそれが有つて初めてたらされた、それでいて今までのどれよりも大きな輝かしい画期でした。

そして平成六年が明けました。二月十二日その日東京は大雪に見舞われていました。雪が積もり、ドロドロにぬかる道をこけつらまろびつ、一懸命に歩きました。国の新年度予算編成作業が行われています。しかしその原案には、地域振興整備公団が実施してくれるはずの沼津駅周辺の特定再開発事業の予算が計上されていないのです。鉄道高架化事業本体は県にお願いできました。しかしそれと一体となつて進めなければならぬ沼津駅周辺総合整備事業だつて決して沼津市だけで実施できません。どうしても国の応援が必要なのです。けれども大蔵省が作成した国の予算案にのせられていないのです。必死で歩きました。必死で大蔵省、建設省等にお願いしました。そしてその夜、遂に私たちの願いはかなったのです。国の予算案に、沼津市で地域振興整備公団が特定再開発事業を行うことが盛りこまれたのです。

そして、今、「初め」の「終り」の画期の時が訪れようとしています。三月十五日、県の都市計画地方審議会が開かれ、沼津駅周辺総合整備のための街路及び土地地区画整理事業の都市計画案が了承されました。そして四月八日、県知事により正式の都市計画決定が行われました。勿論だからと言って、私たちはまだこの事業のスタートラインに立つたばかりで過ぎません。都市計画に限ってみれば、まだ鉄道高架化に関する都市計画は残されています。これだつて平成六年度中に行わなければならない。いざ工事を進めようとするれば、今まで越えてきた苦勞など苦勞という名に値するようないものではなかつたと考えられるくらい、酷い苦勞、さまざまな障害に直面することとなるでしょう。地権者の方々の中には、未だこの事業に理解を示されていない方だつていらつしやるのです。

でも、私たち沼津市民はここまで辿り着きました。「辿り来て未だ山麓」。しかし山麓に届かなければ、決して山頂に挑むことはできません。橋頭堡はできたのです。

鉄道高架化を含む沼津駅周辺総合整備事業は、私たちが目的に行われる事業です。この事業を完成し得て初めて、私たちはこのまちのエネルギーをより一層作り出し、そのことにより私たちが福祉のまちづくりを更に進めることができるに違いありません。

この事業は私たちのために行われる事業です。しかし決して今を生きる私たちのためばかりではなく、これから私たちの後にこのまちに生きていく人たちのためにも行わなければならない事業だと思つています。そしてまた私たちがためばかりでなく、県東部百二十万人の人々のためにも行わなければならない事業に違いありません。それがこの類稀な素晴らしいまちにくらす私たちの責務であり、その責務を果たすことにより私たちがの幸せはより一層豊かになっていくのに違いないと思つています。

主張

市民の理解と協力を 「沼津駅周辺総合整備事業」の 推進と実現に向け

市民の会長 大橋光雄



「沼津駅の高架化と駅周辺総合整備事業」と「県東部地方拠点都市地域整備基本計画」の具体化を目指すことは、「沼津」が県東部地域の中核都市として魅力と活力にみちたまちづくりを志向する方針に沿つたものであります。特に前者は昭和六十三年五月発足時に掲げた本会の命題である「鉄道高架を含む沼津駅周辺総合整備事業はまさに大いなる飛躍を期する沼津市の地域振興と産業経済の活性化の起爆剤である」に沿つたもので、官民一体となつてその実現に努力する所以であります。

幸いにも、沼津駅周辺地区が「国の都市拠点総合整備事業の補助採択」をうけ、地方拠点都市法による地域指定をうけて地域振興整備公団の特定再開発事業に選定されるに至つています。さらに本年に入り、沼津市より示された沼津駅周辺総合整備事業に係わる都市計画案の縦覧を経て、市都市計画審議会、続いて県都市計画地方審議会が原案どおり決定を下し、建設大

臣の承認を受けて都市計画決定されました。

本会としてもこの都市計画案に関して、沼津市がすすめる「県東部地域における中核都市にふさわしい魅力と活力のあるまちづくり」計画に沿つたものであるとの認識に立ち、積極的に推進されるよう要望したところでありました。しかし計画の推進に当つては、この計画がいかに価値あるものであつても、関係者の犠牲にわたる事情や要望等に十分配慮し、可能な限りの対応が必要であります。そのうえで、この計画が百年の大計である、孫子への遺産づくりであるとの認識で、全市民が関心をもち、万難を排して、理解を求め、理解を示し、協力を求め、協力を求めるという姿勢を貫きたいものであります。

(沼津商工会議所会頭)



鉄道高架化に向けて大きく踏み出した沼津駅とその周辺

夢が現実のものごと!

沼津駅周辺総合整備事業

実現へ大きく前進!

平成六年に入って、市、市議会、二十一万市民が力を合わせて推進してきた沼津駅周辺総合整備事業に大きな動きがありました。

一つは、駅周辺総合整備事業に係る都市計画道路と土地区画整理事業について、四月八日県知事により正式に都市計画として決定されたことです。

また、国の平成六年度予算案において、地域振興整備公団の沼津駅周辺における特定再開発事業の事業化が認められました。

さらに、沼津駅周辺の鉄道高架化について、初めて国庫補助事業として採択される見通しとなったことが三月定例会市議会における市長の市政方針の中で明らかにされました。

このように、沼津駅周辺総合整備事業は、今、まさに実現に向かって大きく歩み出そうとしています。

そこで計画内容や最近の状況などを市に取材しましたので、市民の皆さんにお知らせいたします。

沼津駅周辺

総合整備事業の概要

沼津駅周辺総合整備事業の概要については、かけはし第七号(平成五年十一月一日)に掲載いたしました。そのあらましは、次のとおりです。

事業の位置づけ

沼津市は、今後ともより高度で質の高い都市サービスの提供ができる拠点都市としての役割が期待されています。県東部の中核都市にふさわしい魅力と活力ある都心づくりが沼津市の最重要課題であり、それを実現するための重点施策として沼津駅周辺総合整備事業があるのです。この事業は、沼津市の未来を築く上で、今こそなすべきならばならない大変重要な事業なのです。

事業の内容

沼津駅周辺総合整備事業は、大きく四つに分けられます。

第一は、JR東海道本線・御殿場線の沼津駅周辺の高架化です。

第二は、駅周辺地区の交通の流れを円滑にするための幹線道路や歩行者

拡幅され四車線化されるとともにガードが埋められ平面化されます。この他にも、駅周辺の幹線道路の拡幅や新設、南北方向の歩行者通路の整備などが進められます。主な新設道路としては、国道414号竹岬交差点と黒瀬橋とを結ぶ平町岡一色線(四車線)、駅西の西条交差点と駅北高沢公園交差点とを結ぶ添地本町線(二車線)、駅北口と大岡日吉とを結ぶ東西方向の七通り線(四車線)などです。

また駅南側の東西幹線である平町錦町線については、南口駅前交差点から駅西側の市道沢田線までが四車線に拡幅整備されるとともに、中央ガード南側の上本通り交差点付近の改造が行われ、円滑な交通流動の確保を図る計画となっています。

土地区画整理事業

土地区画整理事業は、宅地の利用増進と公共施設の整備・改善を図り、健全な市街地を造成していくこととする事業であり、個々の地権者の利益を十分に確保しつつ、優れた都市環境を備えた街づくりを進めることができる事業手法といわれています。今回の都市計画においては、駅周辺地区四〇・二ヘクタールが決定されました。

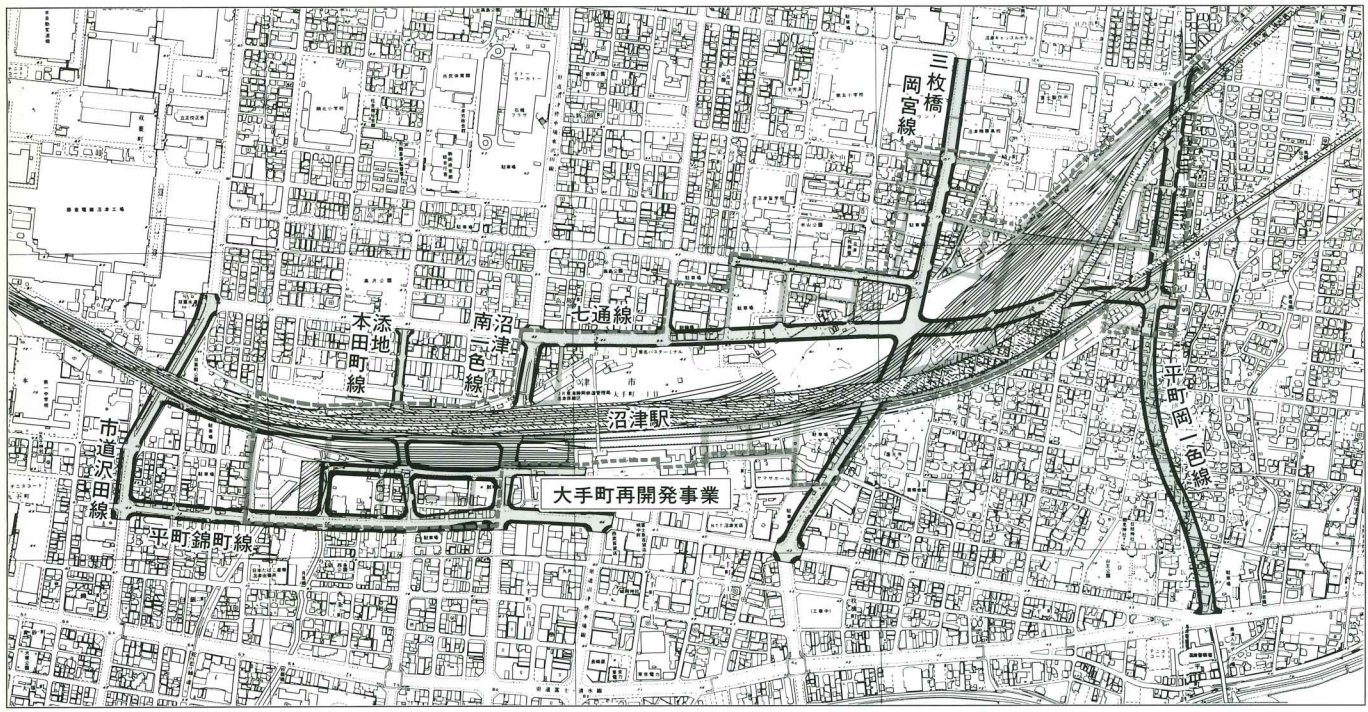
この事業によって道路や公園などの公共施設が整備され、生活環境の向上が図られます。また、県東部地域の拠点都市にふさわしい都市環境の創造も図られます。

駅周辺には国鉄清算事業団用地の他にも鉄道の高架化によって広大な跡地が生まれます。駅周辺の土地区画整理事業は、このような広大な鉄道跡地を含んでいることが大きな特徴であり、メリットも多くあります。

駅北国鉄清算事業団用地の開発

国鉄改革に伴う鉄道施設の整理合理化により、駅北口に五・九ヘクタールの跡地が生まれました。都心部におけるこのような大規模空地の発生は、恐らく今後二度とあり得ないことでしょう。

沼津駅周辺総合整備事業計画



凡例	-----	区画整理区域	■	都市計画道路	■	区画道路
	■	公園・緑地	■	鉄道高架用地		

市、市議会への信頼を

沼津市議会 鉄道高架化促進特別委員会

委員長 田 上 博



特別委員会から報告させていただきます。
改めて申し上げます。

ですが、沼津市は、静岡県東部地域の中心都市として、様々な都市的な機能を有していたことから、周辺の市や町から大勢の方々に沼津の町に来て頂いて発展してまいりました。我々はそれを誇りとしてまいりました。

しかしながら、近年では、周辺都市の発展等もあって、相対的に沼津の町の魅力が薄れつつあり、県東部地域における本市の拠点性が低下してきたのではないかと心配をされてまいりました。

このようなことから、中心市街地の活性化は沼津市の大きな課題であるとともに、県東部地域全体の今後の発展に係わる問題として、市当局のみならず、市議会におきましても、議論・研究がされてまいりましたが、沼津駅付近の都心に、国鉄改革に伴う広大な鉄道跡地の発生という大きな状況変化があり、それを契機とした駅周辺の鉄道高架化と周辺を中心市街地の整備・活性化が現実の、そしてまた緊急の課題として浮上してまいりました。

このために、市当局においては、国や県など関係機関の支援、協力を得ながら調査を始めることになりましたが、市議会におきましても、沼

津市の将来に関わる重要な課題であるとの認識のもと、前第十六期議会の昭和六十三年三月定例会において、全会一致で鉄道高架化促進対策特別委員会を設置いたしましたとともに、署名を頂いた十六万沼津市民の熱い期待に応え、市当局ともども、その促進に向けて取り組んでまいりました。

その後、今期の議会においても、去る平成三年六月定例会において、引き続き鉄道高架化を中心とする沼津駅周辺総合整備の推進を図るため、全会一致で鉄道高架化促進特別委員会を設置されたものであります。

以来、約二年半にわたり特別委員会では精力的な調査研究等を行ってまいりました結果、沼津市が今後とも県東部地域の中心都市として発展していくためには、都市的なきわみや快適性、利便性を作り出していくことが必要であり、このため、大規模な鉄道跡地の発生という、いわば千載一遇のこのチャンスをとらえて、鉄道の整備と沼津駅周辺地区の抜本的な整備を進める必要があるというところを改めて強く認識するとともに、その事業実施・実現に向けて、議会・当局は無難なこと、全市を挙げて取り組んでいくべきことを再確認したところであります。

幸いにして平成三年度からは静岡県が主体となり、沼津駅周辺の鉄道高架化調査が鋭意進められ、今日JRとの間で高架区間、幅員、線形及び鉄道移転諸施設等基本設計の最終

案を決める調整が行われております。さらに本年度には、都市拠点総合整備事業が国庫補助採択されるとともに、地域振興整備公団による特定再開発事業の実施が予定されることとなるなど、本事業に対する国・県の大変大きな御支援が頂ける見通し

が、このように関係者の心配・不安が生ずるのもやむを得ざる面があると思われま

をいたしております。しかし、この事業は、その仕組みが複雑で判りにくいこともあり、一方でこのような関係者の心配・不安が生ずるのもやむを得ざる面があると思われま

から、関係住民の方々には、この事業のしくみを正しく御理解いただき、いろいろな疑問等に的確に答えるとともに、心配や不安を解消するようにしていくことが極めて重要であり、市当局に対して、可能な限り判りやすい説明をするよう、強く指摘してきたところであります。

先程申し上げてまいりましたように、鉄道高架化を中心とした沼津駅周辺総合整備事業は、市の将来のために、また二十一万沼津市民全ての幸せのために、何としても成し遂げなければならない重要な、そして大変価値ある事業であることは言うまでもありません。しかしながら、その事業は、一部市民の方々の犠牲を前提にしたものであつては、決してならないことも自明の理であります。

特別委員会としては、これまでの調査・研究及び当局との協議の中で、この点について特に重大な注意を払い、当局に対し、例えば減歩率の緩和や過小宅地対策、あるいは代替地の手当て等、区画整理事業に関係する住民の様々な事情や要求に、出来る限り柔軟かつ大胆に対応するよう要望してまいっております。

これを受けて、市当局としても、こうした問題に対応するための色々な施策について、先進都市の事例の研究等を含め、既に検討を進めているとの報告がありました。

しかしながら、関係する住民の方々が最も関心を持っている減歩率、換地先、移転補償の内容などについての数字等は、これから法律に基づいて進められる手続きの中で、それぞれの権利者の方々の状況等を把握し、必要な調査の結果を待つて、明らかにされていくものであるため、

沼津のまちづくりにとって千載一遇とも言えるようなこのチャンスをとらえて、新しい街づくりが進められなければならない。

沼津駅周辺総合整備の計画づくり

沼津駅周辺総合整備の計画づくりは、これまで多くの有識者や関係行政機関の方々のご意見を伺うとともに、関係地区の皆さんからのご意見をいただくよう努めてきたこととす

そのような中、計画づくりが進んできたことから、このたび、駅周辺の幹線道路網と土地区画整理事業についての都市計画決定に向け、八月二十二日の間行われ、沼津市都市計画審議会の議を経て三月十五日には静岡県都市計画地方審議会において、計画案が了承され、四月八日には県知事により計画決定の告示がされました。

また、国の平成六年度予算案において、沼津駅周辺における地域振興整備公団の特定再開発事業の事業化

この機会に、あえて住民の方々に、先程申し述べました本事業に取り組み我々の姿勢に深いご理解を頂き、ぜひ市当局並びに市議会を信頼し、この事業にご協力を頂きますよう、お願いするものであります。

（市議会平成五年十一月定例会本会議における鉄道高架化促進特別委員会田上委員長報告文を抜粋）

沼津のまちづくりにとって千載一遇とも言えるようなこのチャンスをとらえて、新しい街づくりが進められなければならない。

関係の交流の拠点となる施設の整備が検討されていくこととす

また、国の平成六年度予算案において、沼津駅周辺における地域振興整備公団の特定再開発事業の事業化

この機会に、あえて住民の方々に、先程申し述べました本事業に取り組み我々の姿勢に深いご理解を頂き、ぜひ市当局並びに市議会を信頼し、この事業にご協力を頂きますよう、お願いするものであります。

（市議会平成五年十一月定例会本会議における鉄道高架化促進特別委員会田上委員長報告文を抜粋）

が認められました。この特定再開発事業は、拠点都市法にもづく地域整備に関する国の支援策として創設されたもので、沼津駅周辺の計画の意義・効果が国にも認められ、全国第一号の事業として実施されることになったものです。

さらに、沼津駅周辺の鉄道高架化事業について、平成六年度に、初めて国庫補助事業として採択される見通しとなったことが三月定例会市議会における市長の市政方針の中で明らかにされました。いよいよ、国の支援が得られることになったのです。

私たちが市民の会の活動に対する素晴らしい成果であると思

この度、沼津駅周辺の道路と土地区画整理事業が都市計画決定され、沼津駅周辺総合整備事業は、今、まさに実現に向かって大きく歩み出すようになってまいりました。

この事業に関する地区の方々と引き続き話し合いが進められていることとす

（市議会平成五年十一月定例会本会議における鉄道高架化促進特別委員会田上委員長報告文を抜粋）

（文責 山室）

寄稿

先進地「浜松」のまちづくりを見て

沼津ピア 老川 睦美



浜松は、事業化の時代背景・財源についてラッキーであり、沼津とは比べものにならないものであると思われま...

駅周辺の整備と言う難事業に、十数年を要するエネルギーをためず...

浜松駅高架化・周辺整備事業・アクトシティ計画・市街地再開発などをいろいろ聴いて...



鉄道高架化事業に併せ完成した浜松駅前広場・周辺施設

例えば、「福祉の街」とでもしてみよう。日本の「スウェーデン」ともして、全国・世界から集う街づく...

まちづくりセミナー開催 “高架化事業は孫子への贈り物”

11/11 ブケ東海



レポーターの先進地現場報告も…… 於ブケ東海

このセミナーでは、七月、八月にかけて行われた「市側」の地元説明会以来、徐々に動き始めた鉄道高架...



正副会長会議 94.2.10 於商工会議所

調査が進行しており、本地域の地方拠点都市の地域指定で、国の地域振興整備公団の特定再開発事業の予定...

- 会館の動き
○定時会員総会 六月十五日、ブケ東海。平成四年度事業報告、収支決算、平成五年度事業計画、収支予算承認
○正副会長会議 五月二十五日、総会提出議案検討

- 三者懇談会の開催 十二月二十二日、ホテル沼津キャッツスル。陳情後、地元に戻り、「市、市議会、市民の会」による懇談会に臨み、陳情結果をもとに今後の対応について協議。
○都市計画案に対する意見書の提出 二月十七日、沼津市計画課経由石川県知事宛、「沼津駅周辺総合整備事業等に係る都市計画案」の総覧に対応し、本会として「東部地域における中核都市にふさわしい魅力と活力のある都市づくり計

- 原 靖 康 久
山室 公 義 菰 生 昌 平
金 井 隆 直 伏 見 博 行

して、大胆な発想で地域振興に尽くしたい」と決意を述べ、本会顧問の桜田市長、庄司市議会議長が「二十一世紀に向けて、市民の英知を結集する正念場を迎えた」とあいさつをされました。

七月十五日、駅周辺総合整備事業の概要について市当局から説明を受け対応協議
二月十日、駅高架化と周辺総合整備計画等の進捗状況と促進方を協議(二段上の写真参照)
○先進地の視察 九月二日、浜松市、JR浜松駅、遠鉄浜松駅高架化事業 周辺土地区画整理事業 駅周辺主要建築物の概要をつぶさに視察、三十五名参加
○広報誌「かけはし」 第七号発行 10/31、七六、〇〇部、全戸配布。内容として「沼津駅周辺総合整備事業のあらまし」を特集、先進地浜松視察参加者の感想文なども掲載。
○まちづくりセミナーの開催 十一月十一日、ブケ東海。沼津市長、沼津市議会議長臨席。
テーマ 駅周辺総合整備事業のあらまし
講師 沼津市沼津駅周辺整備事務局、開発課長 杉山 智氏
また、先進地浜松の視察報告を構成団体である沼津ピア老川睦美さんが行った。
○陳情 十二月二十二日、県庁を訪ね、沼津駅高架化事業等の促進方を石川県知事、県議会議長等に陳情。沼津市長、助役、市議会正副議長、市議会鉄道高架化促進特別委員会正副委員長、市民の会大橋委員長、副委員長、事務局総勢四十名が参加。

「画」に沿った「計画案」との認識に立ち、推進方を要請する内容。本会正副会長団体にもこの主旨による意見書の提出方を求めた。
今、沼津駅周辺総合整備事業の実現に向かつての大きなステップである都市計画決定の手続きが進められている。
まず、沼津駅周辺の幹線道路と土地区画整理事業の都市計画案の縦覧が二週間行われた。縦覧期間中には、賛成、反対のそれぞれの立場からの意見書、あるいは要望の意見書が多く提出されたという。
次に、都市計画案は市及び県の都市計画審議会に諮られた。審議会では提出された意見書の内容を審議するなかで、計画案を了承した。
このあと、建設大臣の認可を得て計画決定という運びになるという。この都市計画案については、昨中央より関係地区での説明会が継続的に開かれてきている。地元理解と協力を得ることは最も大事なことであり、市では努力を傾注してきた。ある地区においては、何と午前二時過ぎまで話し合いがなされたという。本号の記事のように、市、市議会では事業推進に当たって、地元の様子が生じないことを基本として臨んでいくという決意を示している。我々市民の会も、この点を特に注視していきたいと思っている。
「追記」本号の編集終了後二ニュースが飛び込んできた。それは、四月八日付けで県知事により都市計画決定の告示がなされたという知らせだ。これにより、駅周辺の計画は確定し、いよいよ事業というステップに入ることになった。今後に期待したい。
編集委員(順不同)

編集後記